

佐賀県感染症発生動向調査速報

平成16年第38週 平成16年9月13日(月)～平成16年9月19日(日)

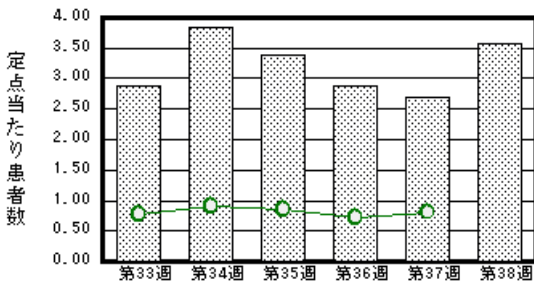
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

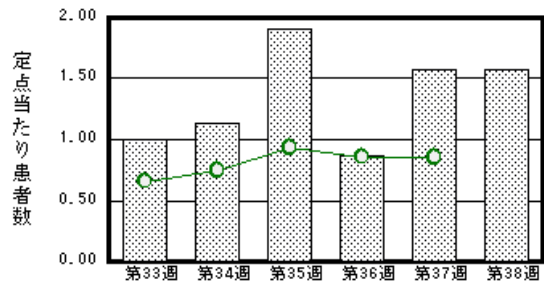
注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 流行性耳下腺炎 (62名) 突発性発疹 (36名) 感染性胃腸炎 (18名)
手足口病 (17名) 水痘 (15名)
- 【流行性耳下腺炎】患者報告数が増加しました (62名 82名)。過去5年間に比較して患者報告数が多くなっています。
- 【腸管出血性大腸菌感染症】佐賀中部保健所管内で3名 (O157) の届出がありました。県内では6月以降発生が続いています。手洗いや食品の温度管理、十分な加熱等一般的な食中毒予防に心がけましょう

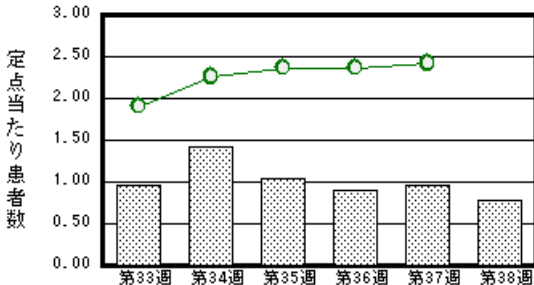
流行性耳下腺炎



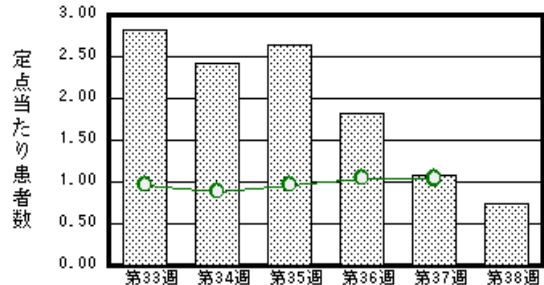
突発性発疹



感染性胃腸炎



手足口病



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2004年第36週号 (8月30日～9月5日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第36週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 - 定点当たり報告数は第23週から減少し続けていたが、第35週からはわずかに増加している / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 腸管出血性大腸菌感染症 > 2004年第36週の現段階での報告数は130例であった < 細菌性赤痢 > 2004年8月下旬からの細菌性赤痢で、推定感染地がハワイと記載されているものは合計15名に上っている
・ 病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2004年 / ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス2004年 / 流行性角結膜炎患者から分離されているアデノウイルス2004年
・ 速報	A群コクサッキーウイルス2型の流行 - 秋田県
・ 海外感染症情報	エジプトへの旅行者で多数のA型肝炎患者の発生 - ドイツ 国際的警告 / プエルトリコでのウイルス性髄膜炎の流行 / 米国でのウエストナイルウイルス流行
・ 感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

開架期間 9月24日～10月8日

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症 (O157) (三類感染症)	梅毒 (五類感染症)
患者 (住所地)	1名 (男児) (佐賀市)	1名 (10歳代男性) (——)
無症状病原体保有者	2名	
感染原因・感染経路	調査中	性行為感染 (異性間)
平成16年届出累計	14件35名 (今週1件3名)	1名
平成15年	同 期	17件31名
	届出累計	25件42名

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成16年第38週

平成16年9月13日 (月) ~ 平成16年9月19日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第37週)	
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								2 0.00	
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								45	
	咽頭結膜熱		2 0.67		1 0.33		3 0.13	2 0.09	890 0.29	
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	5 0.63	4 1.33	2 0.50	2 0.67	1 0.20	14 0.61	10 0.43	1698 0.56	
	感染性胃腸炎	7 0.88	3 1.00		1 0.33	7 1.40	18 0.78	22 0.96	7367 2.42	
	水痘	5 0.63		4 1.00	1 0.33	5 1.00	15 0.65	25 1.09	1337 0.44	
	手足口病	2 0.25	4 1.33	4 1.00	4 1.33	3 0.60	17 0.74	25 1.09	3160 1.04	
	伝染性紅斑	2 0.25			3 0.75	1 0.33	6 0.26	18 0.78	539 0.18	
	突発性発しん	10 1.25	3 1.00	13 3.25	3 1.00	7 1.40	36 1.57	36 1.57	2590 0.85	
	百日咳								46 0.02	
	風しん								24 0.01	
	ヘルパンギーナ						1 0.20	1 0.04	8 0.35	1741 0.57
	麻しん (成人 麻しんを除く)								10 0.00	
	流行性耳下腺炎	15 1.88	10 3.33	30 7.50	15 5.00	12 2.40	82 3.57	62 2.70	2454 0.81	
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								15 0.02	
	流行性角結膜炎							3 0.75	553 0.87	
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								8 0.02	
	無菌性髄膜炎								27 0.06	
	マイコプラズマ肺炎			1 1.00			1 0.17		94 0.20	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								4 0.01	
	成人麻しん								2 0.00	

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は36週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成16年第38週 平成16年9月13日(月)~平成16年9月19日(日)

インフルエンザ 定点	インフル エンザ (高病原 性鳥イン フルエン ザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん
6ヶ月未満		6ヶ月未満					1			2						6ヶ月未満							
12ヶ月未満		12ヶ月未満		1		3	3	2	1	26					2	12ヶ月未満							
1歳		1歳				3	2	6		8			1		4	1歳							
2歳		2歳		1		5	4	4							14	2歳							
3歳		3歳		1	2	1	1	2	2						19	3歳							
4歳		4歳			3		2	1	1						17	4歳							
5歳		5歳			2	1	1	2	2						13	5歳							
6歳		6歳			1										5	6歳					1		
7歳		7歳			5	1									3	7歳							
8歳		8歳			1	1	1								1	8歳							
9歳		9歳				3									1	9歳							
10歳~14歳		10歳~14歳													2	10歳~14歳							
15歳~19歳		15歳~19歳														15歳~19歳							
20歳~29歳		20歳以上													1	20歳~29歳							
30歳~39歳																30歳~39歳							
40歳~49歳																40歳~49歳							
50歳~59歳																50歳~59歳							
60歳~69歳																60歳~69歳							
70歳~79歳																70歳以上							
80歳以上																							
合計		合計		3	14	18	15	17	6	36			1		82	合計					1		
前期計		前期計		2	10	22	25	25	18	36			8		62	前期計		3					
当期間/前	***	当期間/前	***	1.5	1.4	0.82	0.6	0.68	0.33	1	***	***	0.13	***	1.32	当期間/前	***		***	***	***	***	***
増減数		増減数		1	4	-4	-10	-8	-12				-7		20	増減数		-3			1		

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

